

津軽三味線奏者・民謡家

松田 隆行 氏

テーマ 「スキル」は未来を変える

- 開催校 八戸市医師会立八戸准看護学院
- 日 時 令和7年10月7日 14:50~16:20
- 参加者 1学年11名 2学年5名 教員6名



START

松田さんの自己紹介



セミナーは、松田さんの自己紹介から始まりました。

松田さんは八戸市出身。

父親が建設関係の仕事に就いていたことから、
「自分もそういう仕事をしよう」と建設関係の会社に勤めていたそう。

三味線は、両親が仕事のかたわら、民謡と津軽三味線を弾いていたこともあり、
身近な存在だったとのこと。

後に津軽三味線全国大会（現・津軽三味線世界大会）で3連覇することになるのですが、そこに至るまでのお話をしてくださいました。

うまくなるコツは「やめないこと」



三味線を始めた当初は、思うような音も出せず、リズムすらもガタガタ。上手になりたい一心で、毎日ひまがあったら練習していたそうです。

それでも上手にならない時期があり、「才能ないのかな」「やめようかな」と思うこともあったと言います。

そんな時、師匠から「大事なのは才能の有無ではなく、続けることだ」と言われ、その言葉を信じ練習を続けたとお話してくださいました。

続けるうちに、上達していることを実感し、演奏を聴く人に「演奏良かったよ」と言われるようになり「続けて良かった」と思うようになったと言います。

上達を感じ始めると練習も楽しくなり、気が付いたら大会に出場するように。はじめのころは上位入賞はできなかったが、10年ほどたって、7位入賞。次の年に初めて1位になり、そこから3連覇したそうです。

スキルとは

松田さんからは、セミナーのテーマにもなっている「スキル」についてもお話がありました。

スキルとは、「なにかを上手くやること」だけではなく、「人に何かを届けられる力」だと松田さんは言います。

准看護学院の学生さんに合わせ、例を出してくれました。注射するとき、痛くないように注射を打ってあげることも大事だが、会話や表情などで患者さんを安心させてあげられることが松田さんの思う「スキル」だそうです。

お話の最後に



三味線と看護のお仕事は、関係性はないと思うが、どちらも「人の心に寄り添う仕事」という点で、共通していると松田さん。

今後、「スキル」を身につけるうえで、上手いいかないこと、落ち込むことは必ずある。

でもそこで続けることをやめないでほしい。

できるようになる途中で、続けていればできるようになる。

と松田さんから学生みんなへ、力強い言葉が贈られ、お話は終わりました。

三味線の生演奏



松田さんからの有意義なお話を聞いたあとは、松田さんの人生を変えた「スキル」である三味線演奏の時間。

八戸小唄

たわらつみうた

津軽あいや節

おはらぶし

津軽じょんがら節

全5曲を演奏いただきました。



それぞれの曲の由来や曲に込められた思いなどをご紹介いただきながら、三味線の演奏を聴きます。

松田さんの三味線は、力強い演奏の中にも、一つ一つの音に繊細さを感じ、会場にいる全員がその奥深さに引き込まれました。

演奏後、生徒から

「何事も、上手くいかないことや、やめたくなるようなことがあったとしても、あきらめずやり続けることを意識したい。」

とお礼の言葉があり、セミナーが終わりました。

松田さん、ご講演ありがとうございました！



END